

2021年度事業報告書

I 概況

1. 利用者

2021年度は新型コロナウイルスや東京オリンピック開催の影響で、観戦の制限、変則的なスケジュールなどがありましたが、アマチュア、プロとも大会やリーグ戦がほぼ予定通り開催され、野球ファンにとっては野球を堪能できた1年となりました。特にオリンピックでの侍ジャパンの金メダル獲得は、野球ファンだけでなく多くの国民に感動を届けてくれました。

当館においても、中日 大野雄大選手、巨人 坂本勇人選手、ヤクルト 村上宗隆選手の金メダルをお借りした展示を行い、多くの方が来館されました。

その他当館の活動ですが、ホームページリニューアルによりイベントの告知と受付、決済が容易となり、NPB 野球規則委員 井野修氏、ニュースキャスター 大越健介氏などのトークイベントを始め、夏休みの「野球で自由研究!」での講習、NPB 記録データ管理部 山川誠二氏の「NPB 式スコアの付け方」教室など多くのオンラインイベントを開催することができ、遠方の方にもお楽しみいただけたと思います。

緊急事態宣言が発出され4月後半から5月末まで休館になったことや依然新型コロナウイルス感染状況の改善が不透明なことなどがあり、利用者数は38,351人（対前年228.2%）となりました。

2. 維持会員

維持会員は、法人 65 社（前年同数）、個人 160 人（前年比 8 人増）、ジュニア 4 人（前年比 2 人減）となりました。今後も、さらに加入活動の促進と会員特典の見直しを図り、ファン拡大に努めて参ります。

3. 野球殿堂

特別表彰の川島勝司氏の表彰式は、7月14日（木）京セラドーム大阪で開催された社会人野球日本選手権大会決勝の試合開始前に行いました。

また、同じく特別表彰の佐山和夫氏の表彰式は、8月17日（火）、雨でグラウンド状態が悪いため、阪神甲子園球場の貴賓室で行いました。

2022年の殿堂入りですが、第62回競技者表彰委員会から高津臣吾氏、山本昌氏、第61回特別表彰委員会から故・松前重義氏が選出されました。これにより、殿堂入り顕彰者は、競技者表彰 101 名、特別表彰 111 名で合計 212 名となりました。

4. 普及・広報活動

広報宣伝チームを立ち上げ、広報、宣伝体制を強化しました。また、野球振興につながる事案に積極的に対応、当館を紹介する記事、番組の取材・撮影にも協力するなど広報に努めました。

また、バーチャル野球殿堂博物館を開設し、コロナ禍で来館いただけない方にも博物館を楽しんでいただく取り組みを行ないました。

5. 資料収集

博物館の基礎ともなる展示資料及び図書の収集を積極的に行いました。ご協力いただいた皆様には深く感謝いたします。

①収集資料： 658点(前年610点)

②収集図書:1,100冊(前年754冊)

なお、資料収集に際しては、将来に何を残すかを組織的かつ円滑に行うために、「収集資料検討委員会」(原則、毎月1回開催)において協議し決定しております。

6. その他

中小企業庁より一時支援金として600,000円、月次支援金として200,000円、文化庁より文化芸術振興費補助金として2,822,000円、図書館振興財団より振興助成事業助成金として928,280円の入金がありました。(詳細は6ページ参照)

ホームページリニューアルに伴い周知を拡大した寄附金の募集ですが、今年度は2,065,000円の寄附をいただきました。(昨年度630,000円)